

議会だより

しょうわ

2013.4.22

No. **157**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

ありがとう

—常永保育園 卒園式—

エコ対策 公共施設に太陽光発電設置 ②

25年度予算 総額109億5117万円 ⑥

こんな事業が行われます ⑧

一般質問 ここが聞きたい ⑭

陽光発電設置

しても活用～ ※議員全員賛成で可決

- ・ 総合体育館 50kw
- ・ 地域交流センター 50kw
(押原中体育館)

※負担付寄附とは

民間事業者が全額負担で設備を整備して、それを自治体へ寄附。それに対し、自治体は一定期間無償で施設を貸し出すというシステム。

事業方式

昭
和
町

負担付寄附※

発電施設一式
(災害時の非常用電源として使用可能)

使用収益

平常時の発電施設の使用許可

発電施設の寄附

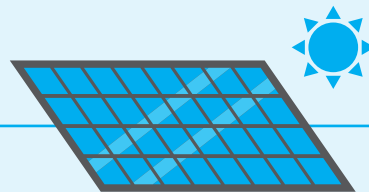
(契約期間約20年)

民間事業者

オリエンタルコンサルタンツ・早野組
特定事業共同企業体

町のメリットは…?

- ★災害時における非常用電源として活用可能
- ★設計・工事費等の初期投資なしで施設整備が可能
- ★自然エネルギーの導入が促進される
- ★環境に配慮！CO₂削減年間約34トン





公共施設に太

～ 災害時の非常電源と



地域交流センター
(押原中体育館)



3月29日調印



総合体育館

角野町長の施政方針(要旨)

「小さくても豊かなまちづくり」の実現に向けて組織体制を強化し 町政運営に取り組みます



3つの基本柱

1

健康寿命の延伸

単に平均寿命を延ばすのではなく、住み慣れた地域で健康で長生きできる「健康寿命」を延ばすための施策を展開します。

2

未来を担う子供の教育

教育指導監の指導体制を確立しつつ、教育委員会が主体となり、未来を担う子供たちの健全育成を推進します。

3

副町長の登用による発展持続性の高いまちづくり

町民活動の強化、市街化調整区域の開発、リニアを見据えたまちづくり等、住みよい昭和町を後世につなげるまちづくりを行います。

平成25年度町政運営の視点

1 歳入を見込んだ予算編成

2 安全で安心なまち

3 協働のまちづくり

4 子育て環境の整備



5 緑化推進と環境保全

6 人・農地プランの作成と農業振興



7 基盤整備と主要計画策定

8 学校教育と生涯学習

9 福祉のまちづくり

10 住みよい昭和町を後世に残す



しむら たけお
志村 武夫 氏
西条4208番地

～ 副 町 長 ～

「スピード感を持って取り組む！」

前総務課長の志村武夫氏が選任されました。 議員全員で同意

～公平委員 新たに3名選任～

平成25年3月31日の任期満了に伴い、新たに3人の公平委員が選任されました。 議員全員で同意



いしはら あきら
石原 昭 氏
河西464番地



あきやま かずのり
秋山 一紀 氏
押越842番地



かさまつ ほうじょう
笠松 豊乗 氏
西条5167番地

～選挙管理委員会委員 議会で選出～

平成25年4月11日の任期満了に伴い、指名推せんにより4名の選挙管理委員を選出しました。また補充員として4名が選出されました。 議員全員賛成で可決

【委 員】



もりた きゅういち
森田 幸一 氏
西条4165番地



やました みのもる
山下 實 氏
河東中島514番地



いとう ひろし
伊藤 浩 氏
紙漉阿原1696番地2



ひらが かずしげ
平賀 式茂 氏
上河東468番地1

【補充員】

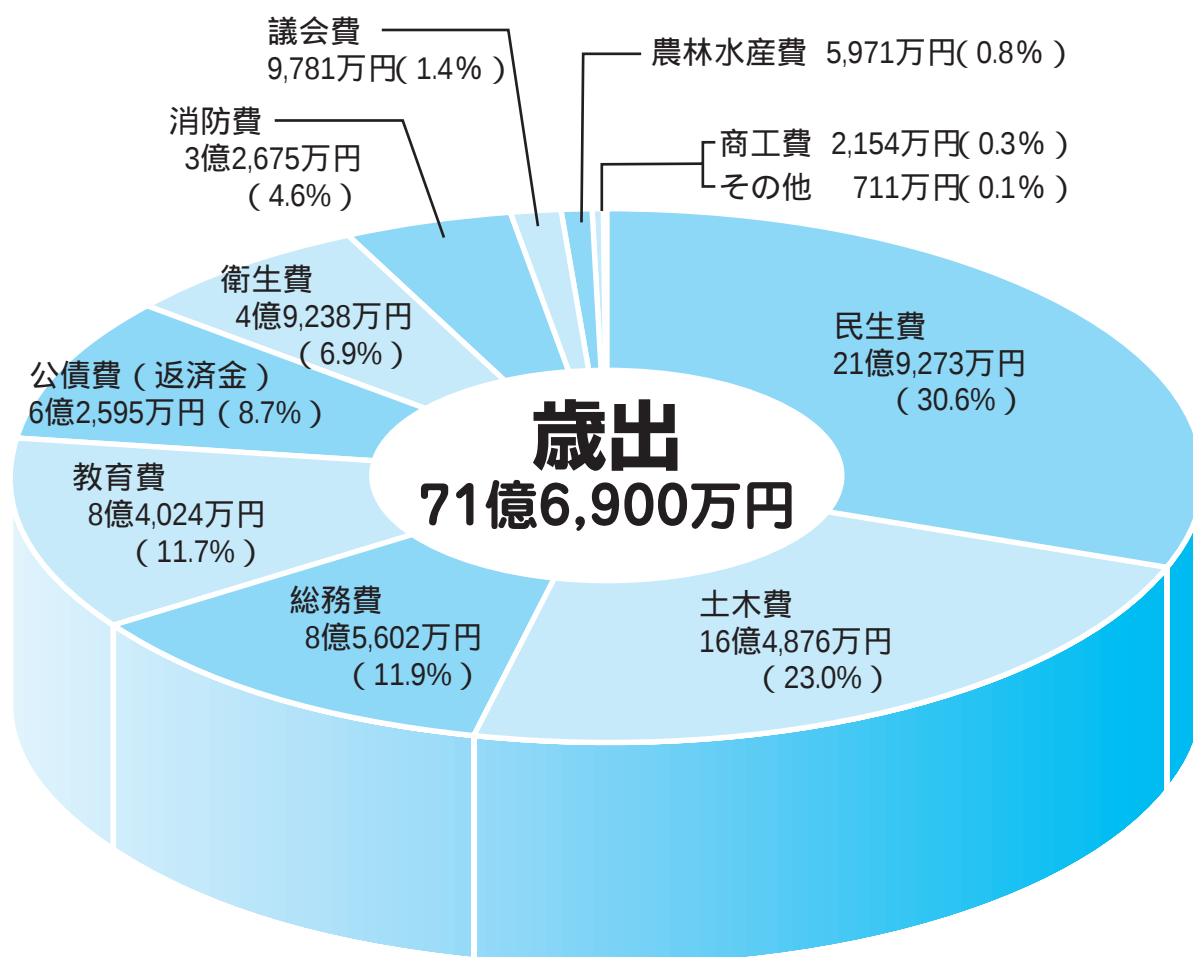
しみず まさる
清水 克 氏

うちいけ みつお
内池 光男 氏

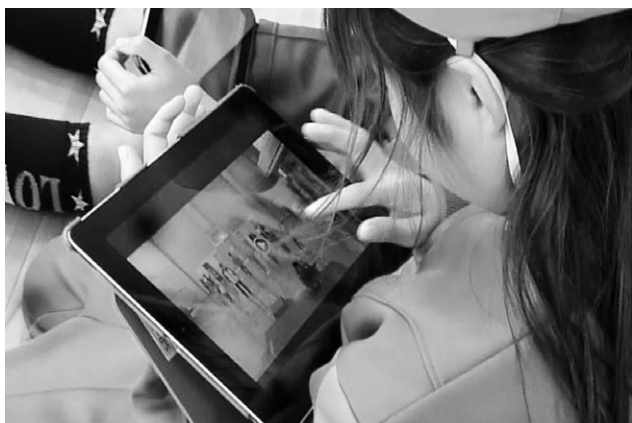
いそべ ひろし
磯部 洋 氏

すぎうら つよし
杉浦 彊 氏

端末を導入



数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。



タブレット端末を使った授業風景(常永小)

タブレット端末導入による教育環境の充実!

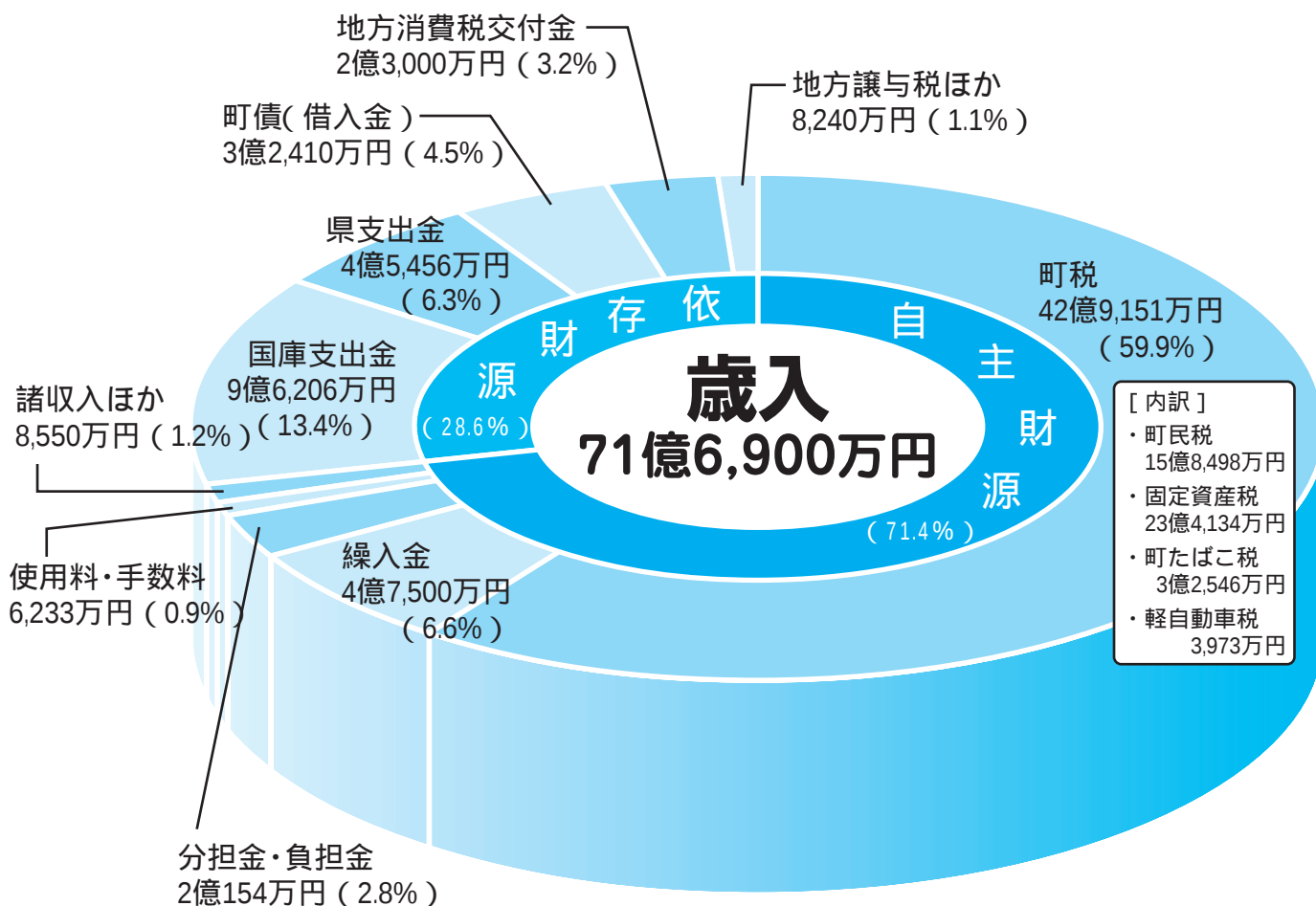
今年度、新たに児童用として押原小に52台、西条小に40台導入予定。国語や音楽など、実技授業等で録画再生機能を学び、授業の充実を図る。

※タブレット端末

キーボードは付いておらず、液晶画面に指をあてながら操作するパソコン

平成25年度
一般会計

常永小に続き押原小・西条小に 夕ブレット



■ 平成25年度一般会計・特別会計予算

会計名		予算額	前年度比	可否
一般会計		71億6,900万円	8.4%	賛成14:反対1
特別会計	国民健康保険	17億9,600万円	4.7%	賛成14:反対1
	後期高齢者医療	1億2,440万円	0.5%	賛成14:反対1
	介護保険	7億6,717万円	12.0%	全員賛成
	介護サービス	1,470万円	4.9%	全員賛成
	下水道事業	10億6,868万円	1.6%	全員賛成
	渇水対策	1,122万円	119.2%	全員賛成
合計		109億5,117万円	7.3%	

反対は深澤平助議員

(国民健康保険特別会計に対し、深澤平助議員より反対意見がありました)

業が行われます！

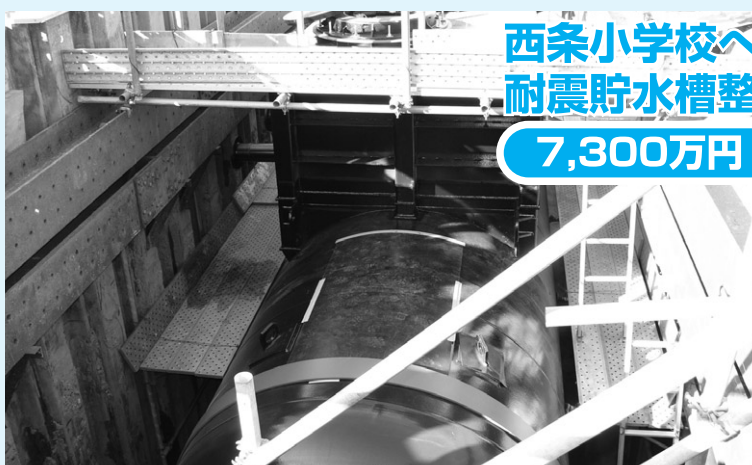
00万円を可決！

常永区画整理事業
多目的広場用地取得費

6億5,000万円



常永小耐震貯水槽



西条小学校への
耐震貯水槽整備工事費

7,300万円 (60t)



常永駅前駐輪場
整備工事費

700万円

平成25年度予算

こんな事

一般会計71億6,9



押原保育園増築補助費

8,000万円

(内、国からの補助6,000万円)



給食センター内の
アレルギー対応設備工事費

500万円



釜無公園テニスコート
人工芝張替工事費

940万円

平成24年度一般会計補正予算

子宮頸がんワクチン 接種補助金を増！

一般会計 全員賛成で可決

年度末を控えた予算編成で多くの費目が減額となる中、歳入では法人町民税現年課税分と固定資産税滞納繰越分の増額を見込んでいます。歳出では町道30号線道路用地購入費1,027万円、介護保険特別会計繰出金1,221万円を増額し、下水道事業特別会計繰出金等の減額、また事業執行後の不用額を併せた1億5,220万円を基金に積み立てるものです。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計	1,262万円
後期高齢者医療会計	136万円
介護保険会計	3,888万円
介護サービス会計	22万円
下水道事業会計	2,764万円



啓発用パンフレット

3月議会で 決まったこと

平成25年3月定例会は、3月5日から19日までの15日間の会期で開きました。町長から提出された平成25年度一般会計および特別会計予算7案件のほか、24年度の補正予算6案件、条例の制定・改正7案件、また追加案件5件の計25件を審議しました。

一般質問には6人の議員が15件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを問いました。

条例の制定

・ 新型インフルエンザ等対策本部条例

・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されることに伴う条例制定

・ 指定居宅サービス等の事業に関する基準等を定める条例⁽¹⁾

・ 指定介護予防サービス等の事業に関する基準等を定める条例⁽²⁾

・ 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例⁽³⁾
介護保険法の一部改正に伴い、町で条例制定するというもの。



用語解説

1 指定居宅サービス

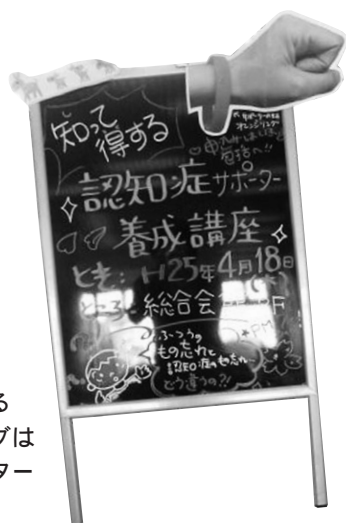
要介護者が夜間専用の訪問介護や、訪問・短期間の宿泊を組み合わせた中で受けられるサービス。

2 指定介護予防サービス

要支援者（認知症の方など）が食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などが受けられるサービス。

3 指定地域密着型サービス

指定居宅・指定介護予防サービスを総まとめしたもの。



腕に付いているオレンジリングは認知症サポーターのしるしです



正しい知識で介護と向き合う

条例の改正

・ 特別職等の委員及び区長等で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

・ 町職員安全衛生委員会の委員である産業医及び青少年育成カウンセラーの報酬を規定するもの。

・ 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の改正

・ 情報公開条例、個人情報保護条例及び都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正

・ 税条例の改正
地方税法等に関する暫定措置法の改正に伴う一部改正。



総務常任委員会

石原議員 当町は3日分の食糧備蓄がされていらないとの報道があるが、今後の備蓄計画は。

企画財政課長 東海地震を想定した居住制約者数の3日分の食料は備蓄している。曽根丘陵断層地震の場合には不足が生じるので、平成25年度早期に備蓄する。

塚原議員 常永駅を利用してイオンに行く人が、場所が分からず地元の人たちに聞いている。案内板等の設置をしたらどうか。

総務課長 イオン側も地域貢献を積極的に考えているので、案内板についてイオンの担当者と話を



押原公園内備蓄品

教育厚生常任委員会

深澤（平）議員 高齢者祝金が平成25年度も予算化されているが。

町長 節目に配布するか、廃止するかを検討し、6月議会までに結論を出し、協議したい。

樋口議員 ジェネリック医薬品（）の普及率は。

町民窓口課長 平成24年4月が20・3%、9月が22・4%。勸奨はがきの効果があるのでは。

長谷川議員 給食センターでアレルギー対応食（）を何食作っているのか。

学校教育課長 対象食数は20食であるが、日々のメニューにより数の変動はある。

樋口議員 杉浦醫院のオープン時期は。

生涯学習課長 年内に改修工事を終了したい。オープンはめどがつけたい。考えています。



有形文化財として登録されている杉浦醫院

用語解説

ジェネリック医薬品

製薬会社が開発した医薬品の特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分でつくる薬のことで、後発医薬品ともいう。

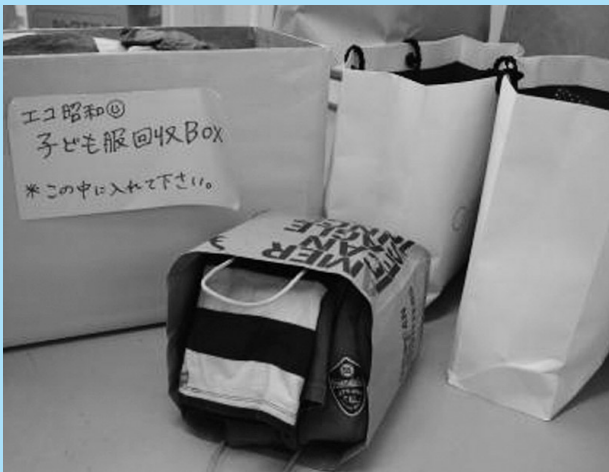
最初に開発された薬は新薬や先発薬とよばれるが、この先発薬と同等の有効成分で、同等の効果があるにもかかわらず価格が安いのが特徴。

アレルギー対応食

食物アレルギーは、普通に食べた食物が、アレルギー反応として身体に害をもたらす現象のこと。現在、町の給食センターでは、これらのアレルギー現象を低減するため、食物アレルギーを持つ子どものための給食を作っています。

産業土木常任委員会

林議員 4月29日の昭和の日は、どのようなイベントを行うのか。
環境経済課長 「エコしょうわ2013」として、子ども服のリサイクルやエコカーの試乗会、緑のカーテン教室など、親子で楽しめるような企画を計画している。



集められた子ども服

用語解説

エコしょうわ2013

エコしょうわ2013は今年で3回目の開催。4月29日（昭和の日）に押原公園・ゆめパークしょうわで開かれます。楽しみながら環境について学び、家庭で負荷のかからないライフスタイルを目指すために、エコチャレンジ、エコライフ展示会、エコ販売会など、親子連れで楽しめるイベントが数多く企画されています。

河住議員 常永団地への監視カメラ3台の設置場所は。またいつころ設置するのか。
建設課長 駐輪場に2台、A棟玄関口に1台設置。なるべく早い時期に設置したい。
福島議員 町道30号線の工事予定は。建設課長 平成26年度着工。平成28年度供用開始予定。

水源対策

特別委員会

中澤議員 河東中島区の中で地下水が上がってきている状況の家がある。昭和町の水位の変化はどうなっているか。
環境経済課長 甲府市水道局昭和浄水場の取水量の減少により、地下水位は20センチほど上がっている。

遠藤議員 浄化槽の定期点検は。

環境経済課長 浄化槽については県で対応している。町ではそのPRとして毎年10月の広報に掲載している。また、業者の点検の中で注意すべき箇所が見つかった時には、チラシ等を配布している。

地方分権対策

特別委員会

▼当局より
・協働政策評価シートについて報告。

・「これからの高齢者福祉の在り方について」のアンケート結果について報告。

高齢者牛乳サービスについては今年度廃止となるが、高齢者の見守りや予防接種などの福祉サービスを検討していく。また、敬老祝金については、これから協議していく。今後予算に反映できるものかどうか、議会の中でも協議していく。

▼議会より
・議員定数の問題について意見交換会を行った。

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

Q 中央地域の 今後のまちづくりは

A 長期的視野で まちづくりを進める



いしはら たかひろ
石原 高明 議員

一般質問

石原

昭和町の目指すまちの姿、地域の姿は着

実に整備され、目標に近づいている。しかし「公共公益施設の集積と周辺環境と調和したまち」を目指す中央地域は、整備が遅れている。

公共施設の整備と、衰退する農業の振興という課題を抱えた中央地域の今後のまちづくりは。

町長

県は現在のところ市街化区域の拡大は認めない方針である。

今回、都市計画マスタープラン見直しにあたり、市街化調整区域について、地区計画による規制で効率的な土地利用が可能である。

よって、道路整備と合わせて計画案を策定し、公共施設の拡充整備と居住環境の調和を図るため、長期的視野に立つて市街地形成のまちづくりを進める。

再質問

石原

都市計画マスタープラン策定と、地区計画の今後の日程は。

都市整備課長

平成24年度中の見直し策定を踏まえ、28年度以降策定作業を行う予定である。地区計画は25年度中に県と協議し、対応する。

Q 身延線南側地域の 農業振興は

A 知恵を出し 振興策を探る

石原

商工会青年部が、視察研修や地域おこしの活動のノウハウを一生懸命学んでいる。こうした情熱を昭和ブランドの農産物の創出に向け、町民との協働のモデル事業として取り組み、「農業経営の法人化」と「町民との協働による新たな昭和ブランド農産物の創出」の両輪による農業の振興を図る考えはないか。

町長

「人・農地プラン」を作成し、青年農業者や農業生産法人などが農地の集積を目指して農業の大規模化ができるようなプラン作成を行う。また、次世代の担い手として青年農業者や農業生産法人など、農地集積の研究。

一方商工会では農商工連携事業に取り組み、町内農産物を食材とした飲食店のメニュー開発や、官民連携で山田錦プロジェクトを立ち上げるとともに、昭和町ブランド米「ヒノヒカリ」の拡大に取り組む。



県営圃場整備(押越・紙漉阿原)

施策を問う

一般質問



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q 表彰記念品には 商品券を

A 商工会とも 検討していく

河住 報償費を各課で計上し、功労者等に表彰状や記念品が添えられているが、好みや趣味により喜ばれない場合もある。

記念品でなく、町内で通用する商品券を贈ること、本人が思い出と価値ある品物を求められ、町内商店からの購入で町の活性化の一助ともなる町の考えは。

町長 町の有功・優遇表彰者には、永年、町政振興に寄与された功績を、後世に語り継がれる証として感



謝の意を込めた記念の品を選んでいる。地域活性化につながり、地域振興になる商品券については、商工会の意見を聞きながら検討していきたい。

Q 生活保護者対策は

A 相談内容を把握し 対応

河住 不正受給の摘発で、真に救うべき弱者が切り捨てられている。町の生活保護者の人数、対象者の内訳、類似自治体との比較など、生

活保護申請の状況を問う。

町長 生活保護の決定は、町に福祉事務所がないため、峡南福祉事務所で行っている。

面接で生活状況を聞き、あらゆる方法で生活内容の確認を行っている。事案の内容が個々に異なり、相談内容を把握しながら対応しているので、疑義がなければ見放すことはない。現在60人が生活保護を受けているが、他市町の保護者数の詳細がなく、類似他市町との比較も難しい状況となっている。

再質問

河住 最終的な判断がつくまで、日数的にどのくらいか。また、ここ数年の申請者数は。

福祉課長 20日を限度に、峡南福祉事務所に申請を上げるよう努力している。

なお申請件数は22年度10世帯12人、23年度13世帯16人、24年度は2月現在13世帯17人となっている。

Q めざせ豊かな心を育むまち

A 教育相談体制の強化に努める



田中 博愛 議員

田中

全国的に学校現場や家庭でさまざまな問題が起こっている。体罰問題が議論され、いじめや不登校、児童虐待など環境は極めて深刻な状況だ。本町では児童・生徒の悩みに対応する体制の強化や、学校教育に関する専門的事項について、指導・研究をどう進めるのか。

教育長

県より2人の臨
床心理士のスク
ールカウンセラー派遣を受け、児童・生徒の悩みに耳を傾けるなど、教育相談体制の強化に努めている。

昨年4月から教育指導監を学校教育課に配置し、就学相

談や特別支援教育業務の推進、教育課程の検証や研修会など、町独自の情報教育の推進に力を注いでいる。町の教育行政基本方針が平成25年度に最終年度となるので、検証と新たな基本方針の策定を行い、豊かな心を育むまちづくりの実現に努めていきたい。

Q アイデア政策と
地区担当職員制度は

A 協働の精神で
取り組みたい

田中

地区担当職員が区と連携し取り組みをサポートするが、係長の手当と年間総額は、

制度で目に見える効果と実例は、

区役員や担当職員からの意見は、

今後、この制度を継続していくのか。

町長

通常の勤務時間外に出席、月5千円を支給、24人で年額144万円、経常的に区と行政の関係を高める制度。効果は目に見える

にくい。地区役員と懇親を深めるなど、地域に溶け込んでいる。協働の精神で取り組みたい。

「情報を早めに」「区を展覧させる助言を」「行事に顔を出してほしい」など。職員からは「今までにない業務で立ち位置が分からない」などの意見が出た。

地区担当職員制度は今後とも大事な制度のため継続する。

Q 町内独自開発許可
基準の条例制定は

A 国・県と調整
協議し検討

田中

都市計画マスタープランの内容が見直される。地区住民が「町独自の開発許可基準」で開発が可能になるよう、条例化を制定する考えはないか。

町長

今後、都市計画マスタープランと併せ、国・県と調整協議し、専門職員の育成や条例制定を含め検討したい。



元気に遊ぶ子どもたち



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員

Q 体罰、町の状況と防止対策は

A 教員の体罰は処分を考える

深澤 ここ数年の学校教育の中で、体罰が起きていないか。教育委員会・学校は体罰をどう認識し、防止のためにどう対処しているのか。

教育長

口頭注意処分を行った例はあるが、現在は信頼関係を取り戻している。今後は実態調査を行い、体罰を認めた場合は当該教員の処分を考えている。体罰防止は、学校・保護者・地域の連携の下で子ども一人ひとりの個性や良さを見抜き、可能性を伸ばす指導方法や体制の確立に取り組む。

Q 地方公務員の給料は

A 近隣市町村の動向を見て判断

深澤 地方公務員は15年間ベースアップがなく、給料は引き下げられており、自治体の運営にも影響する。

職員給料の引き下げは行っべきではないが、見解は。

町長

消費税増税に向け、国民の理解を得るため平成25年度に限り実施するものと国から緊急に要請されたが、町は近隣市の給料と比較し低い水準にある。近隣市町村の動向を注視し、検討・判断していきたい。

Q 生活保護費の削減は

A 援助は難しい状況

深澤

生活保護は国民の最低生活を保障するもので、最後の命綱だ。生活保護費の削減を行わないよう、強く求めるが、当局の考えは。

町長

日常生活の費用である生活扶助は、平成25年8月から段階的に削減と報道されている。生活保護の基準額は生活支援制度の目安にもなっており、現行制度では生活保護費の町独自の補填は収入とみなされ、さらなる減額につながり、援助は難しい。

再質問

深澤

今の基準では食費は1食294円。これを6・5%も削減となるのはあまりにもひどい。下げられた場合、その分を町が負担して生活保護者を支援すべきでは。現状の制度上、できない状況。ご理解いただきたい。

町長

学校教育法

第十一条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

Q 鎌田川の改修は A 県に強く要望する



鎌田川（西条新田内）



長谷川幸廣 議員

長谷川 鎌田川流域は、工業団地の造成や宅地開発で市街化が進み、水害の危険性が重要視されて

いる。河川を管理する県では、平成38年度以降の鎌田川改修計画がまだ決まっていないが、町として要請する考えはあるか。

町長

鎌田川の未改修区間は、矢板・コンクリート板柵等で暫定改修が長年続いており、水害防止に早急な対応が必要と考えている。県では抜本的な河川改修を進めており、年次計画で実施する報告を受けているが、河川改修費の財源が少ないとのこと。いまだに実施されていない。町民の生命・財産の生活基盤を守り、安全・安心な地域づくりのため、危険度の高い箇所の暫定改修や、堆積土砂のしゅん濇、雑草除去と併せ県に強く要望していく。

Q 通学路安全対策の進捗は

A 対策が必要な6力所を改善

長谷川

昨年7月に、危険な通学路15力所の緊急合同点検を実施した。

新入学児童が安心して登校できる道路の完成を願うが、通学路改修の進捗状況は。

教育長

緊急性や危険性の高い9力所を選定し、うち6力所を早急な対策が必要と認め、現在4力所は路面表示の追加や塗りなおし、安全上の妨げとなる看板の撤去などを行った。残り2力所も早急に改善を図る。また本町の「通学路に関する要綱」を制定して安全に努める。

Q 発達障がい児の支援を

A 組織的に検討し取り組み

長谷川

小学校低学年の子どもたちの、通常の学校での支援体制や配慮ができていれば、一日でも早く自立できる。町の発達障がい児の支援は。

教育長

各学校では「特別支援教育コーディネーター」の担当教職員が中心となり、具体的な対応

策を組織的に検討して取り組んでいる。

教育指導員や教育支援員等の職員を、町費単独で多数配置し、施設面の改修も含め、きめ細やかな教育環境の整備を推進し、子ども一人ひとりに相応しい教育を行い、将来的な自立を目指す。

再質問

長谷川

4月より5年生と中学2年生の少人数学級が拡大となり、平成26年度からは全学年が対象になるが、取り組みと今後の対応は。

教育長

25年度に、はぐくみプランを用いるのは西条小が1・3・5年生、常永小で1年生が対象町全体の1学級当たりの平均学級人数は小学校が25・9人、中学校が32・5人。町単独の教育指導員も配置し、さらにきめ細かな指導を行っている。



かわuchi 河田あけみ 議員

Q タクシー利用料金 助成事業に公平性を

A 速やかに対応する

河田

本町では平成4年から、重度心身障がい者（児）等タクシー利用料金助成金事業を行っているが、対象者の中に精神障がい者が入っていないのはなぜか。町の福祉政策充実のためにも、加えるべきでは。

町長

障がい者の中でもご指摘のような方と、障がい者本人や家族の方が運転する場合もある。利用者は平成23年度まで横ばいで、本年度は利用者も多くなり増額補正をしている。精神障がい者保健福祉手帳所持者の取り扱い、公平性を考慮し、速やかに対応したい。

Q 消費者を被害から守れ

A 未然防止に力を入れる

河田

子どもから高齢者まで、消費者問題に直面するようになり、本町でも「消費者生活センター」を設置するとともに、今後は消費者教育の推進が必要と考えるが町の考えは。

町長

振り込め詐欺や悪質商売が後を絶たない町では防災無線やホームページの安全・安心メールで、町民に周知し注意を促した。毎月第2金曜日午前に、町の消費生活相談員が相談所を

開設し、消費生活トラブルの相談に応じており、専門的知識が必要な場合、県民生活センターにアドバイスをいただき解決している。消費者教育推進は、高齢者対象にいきがい大学開催時や、各種団体の研修会や地域の集

まりなど、県民生活センターの出前講座で悪質商売の手口と対処法、携帯電話等のトラブル事例など、未然に防止できるような役立て、広報やホームページ、チラシ等でも町民に周知していきたい。



町で作成した防犯シール



地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

上河東二区(第9回)

1月18日 上河東二区集会所

- 出席者 区民 22人
- 参加議員 産業土木常任委員会 田中博愛 中澤康夫 遠藤辰男 福島正明 林 和仁 萩原 馨議長 地元議員 河住保茂

おもな意見・要望と議会の対応

Q 消防の新入団員確保が難しい。南アルプス市の新規入団者に対する商工会の特典など、地域で支えていく仕組み作りも重要だと考える。

るが対応策はどうか。

A 地区ごとの定数も見直しが予定されている。企業への協力、社員の消防活動の協力等は、文書でも依頼している。また、適切な消防団活動が行えるよう、消防団・各地区と連携し、団員の確保に努めていきたい。

Q 常永駅からイオンへの歩行者の流れが起きている。親切な表示、安全性の確保の関係はどうなっているか。

A 常永駅周辺の整備も含め、イオン側とも協議していく。

清水新居区(第10回)

1月29日 清水新居地区公民館

- 出席者 区民 37人
- 参加議員 総務常任委員会 三井 猛 石原高明 長谷川幸廣 塚原将司 野中敏美 萩原 馨議長 地元議員 林 和仁

おもな意見・要望と議会の対応

Q 自主防災体制の組織は区で、何を、どのようにということに共有しなくてはならないと思う。区の役員は2年交代なので、災害時の役割分担が果たせるか不安。マニュアルが必要と思う。

A 災害時は72時間が勝負と言われる、各自が3日分の食料、飲料水を準備すべきと考える。地域防災計画の中に明記しており、各戸にダイジェスト版が配布してある。自分たちの地域は自分たちで守るという、共助の取り組みを行っていただきたい。

Q 災害に備えて食料、飲料水等の備蓄品が西条小学校にあるが、災害が起これば道路等が崩壊し、調達が困難になる恐れがある。清水新居区に備蓄品を備えてほしい。

地区に備蓄品を備えて!



A 最低限度の備蓄品等は、各区自主防災会で用意するのが基本。町で備蓄してある食料等は必要に応じ職員が搬送する。

Q 先に行われた協働政策評価意見交換会の中で、人間ドックの希望者が多いため、受診定員を350人から450人に増員すると聞いたが。

A 人間ドックの募集人員を450人にするにあたり、受け入れ先の医療機関と協議する。

河東中島区(第11回)

2月18日 河東中島区公会堂

●出席者 区民 29人
●参加議員 産業土木常任委員会
田中博愛 中澤康夫
遠藤辰男 福島正明
林 和仁
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 甲府都市計画線引き市街化調整区域は、昨年12月に説明があったが、河東中島区は農業振興地域や農地も多い。町長が県や国の許可があれば、部分的に開発されるのではとの話があった。町の権限で開発されるのか教えてほしい。

A 権限委議の問題があるが、住民がこのようにしたいとする地区計画が、町長の権限でできないか一般質問する。町では都市計画マスタープランと併せ、地区計画を策定する中で、県と調整協議し、専門職員の育成や条例制定を含め検討していくとのことだ。

Q 農地を持つ農家の子どもとして、農業振興に積極的に取り組めない現状がある。地区計画を踏まえた全体計画が見直せるのであれば、町の積極的な指導力で進めて



ほしい。

A 山梨学院大学の中井教授の話では、町としての計画内容が充実していなければ、なかなか実現が難しいと話している。開発なり、農業の振興について協議を進めるには、地区(ゾーニング)として、どのようなまちづくりをしたいのか、住民の関心度の向上が最も大切だと思う。

飯喰区(第12回)

2月28日 飯喰区集落センター

●出席者 区民 15人
●参加議員 教育厚生常任委員会
河田あけみ 深澤克男
深澤平助 樋口敏夫
河住保茂
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 4月から「粗大ゴミの一方所収集」や、「高齢者への牛乳配布・祝い金」等の見直し、「人間ドック」の個人負担増額など、サーピスが削られるマイナス面しか感じられない。説明を丁寧に行うことが大切ではないか。

A 3月議会で提案されると思うので、しっかりと議論しチェックしていきたい。

Q これから急激に人口増加が見込まれる常永地区に、中学校の新設計画は。

A 3町合併協議会の時は、中学校用地を確保していたが、単独町政後、押原中の増築を行い現在に至っている。特別教室の使用などで十分間に合うので計画はない。今後10年20年後の生徒減少が予測される事も理由としてある。

改善されない粗大ゴミの出し方!



Q 最近、全国で自殺する子どものニュースが多くあり心配している。町の小中学校のイジメ・体罰・道徳教育について、議会はどのように把握しているのか。

A 教育長及び中学校長との聞き取りによると、イジメはないとのことでは一致している。体罰については3月議会で一般質問が予定されている。道徳教育は小中学校とも特に力を入れており、毎年各校で道徳授業を公開しているので機会があれば見学し体験していただきたい。



追跡あの質問はどうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



昭和町西条新田区からアルプス通りに抜ける町道30号線、完成予定は

平成24年第1回定例会（産業土木常任委員会）質問者：遠藤辰男議員 / 福島正明議員

問 30号線の工事はいつごろ着工か。
また完成予定は。

答 平成24年度には2件の用地買収を行い、補正あるいは平成25年度予算の中で工事をしていきたいと思っている。

その後

平成26年度着工予定、平成28年度完成予定。



議会モニターとして1年が経ちました

中澤 正志さん



町民の声の代弁者として、議会モニターと議会とで相互に意見交換会をしながら、より良い議会改革につなげてもらいたい。

植竹 由美さん



議会に対しての興味が増し、少しだけ町政が身近な存在になった。女性議員の増員を願い、今後も傍聴させていただきたい。

塩澤 政博さん



モニターとして何をすべきか考えが定まらず、なかなか出向くことができなかった。町がより良く住みよくなるために小さなことから少しずつ把握・対応していきたい。

渡邊実千代さん



当初より雰囲気になじむことができた。議会モニターの意見が生かされたような、一般質問の活発な様子がみられて嬉しく思う。

笠島三枝子さん



民主的な議会運営を推進し、議会改革に積極的に取り組んでいる議会に、町民としてとても誇りに思う。将来は議会ライブ中継等、さらに開かれた議会を目指していただきたい。

小林 利雄さん



実際議会に触れてみて私自身、今まで無関心だったことを再認識できた。議会モニターとしてこれを機会に関心を持って議会を見守っていければと思う。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だよりを読んでください

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ① ○○○発電 公共施設に設置！
- ② 議会にて選挙管理委員選出。○名の委員に決定。
- ③ 新年度一般会計予算71億○○○○万円！

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました！

昭和町で子育てをしながら、小学校での教材費の負担や保育園の費用の負担など、本当に有難いと思っております。また、いろいろなイベントがあり早く子育てをさせてもらっています。今後も宜にお厚意を致します。

!!ご意見の迅速な返事を頂きました。ありがとうございます。これからも昭和町へ為にがんばって下さい!!

※昭和町の事が良くなり、感謝しています。
※議会クイズでいろいろな事が覚えられます。

私か感想文を書かなくて済んだ「区
跡の一般質問はどうか」の記事
の掲載されたり議会だよりが受審
賞の対策となったこと一層うれし
かわれてきました。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX : 055-275-5250
- メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

5月末日 消印有効



156号クイズの答え

ワーク 71 京都

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

魅力いっぱい昭和町



西条二区

望月 まりさん

私はかれこれ10年ほど前、結婚を機に昭和町に引っ越してきました。
子どもが生まれるまでは、町のことはあまり知りませんでした。妊娠・出産、子育てを通じて、きめの細かいサポートがあり、安心して子育てができる町だと思いました。中でも心に残っているのは、愛育班員さんが訪問をしてくれたことです。1人目の慣れない育児でまいっていた時声をかけてくれ、温かさを感じました。その後も、乳幼児健診で愛育の方に声をかけていただき、うれしかったです。
子どもが小学校に入ると、子どもと共に杉浦邸や義清神社等の歴史を学んだり、季節の催しも盛んで、いろいろな行事に参加し親子で楽しんでます。休日は、設備の整った押原公園で体を動かしたりと、さまざまな面で恵まれた町だと実感しています。また、転入の多い昭和町ですが、古くから住んでいる方も温かく、子どもにもよく声をかけてくれ、地域でも子どもを見守ってくれることは、本当にありがたいと思います。小さくても魅力がいっぱいのこの町に住めて、本当に幸せだと思っています。これから昭和町がますます発展し、素敵な町になることを期待しつつ、町の一員としてできることは協力していきたいと思っています。

高齢者福祉政策に期待



上河東区

二宮 一英さん

私の小さいころは、周囲は広々とした農村風景であり、遠くは山々は何も妨げるものもなく、裾野まで展望できた。道路は狭く集落を結ぶ道端は田んぼが連なり、きれいな小川が流れ、時期には源氏木タルが乱舞し夏の風物詩として有名であった。
社会人となり就職してからは、山梨と関東を行ったり来たり生活で、20年ほど地域にご無沙汰してしまっただけに地元に住む気がついてみると、村が町となり工業団地が誘致され、「青空と緑と産業のまち」として大きく変貌していた。以来、行政のたゆまぬ努力により、わが町はますます活力のある町に発展してきました。
一昨年はイオンモールも開店し、我々の生活環境は大きく変わり、さらには21世紀の夢を託したりニアカーの開通も現実なものとなり、沿線の地域として町の発展に大きな影響をもたらすことは確実である。
今後、町では高齢者福祉の在り方について、各地区を回り意見交換を行って、健康寿命を延ばす施策を推進しようとしています。
私も後期高齢者の一人として、住み慣れた地域で安心して余生を送り、夢がかなうなら、リニア新幹線が営業を開始するころまで頑張りたいと、ひそかに願っています。

議会事務局長に今澤幸広氏



平成23年4月1日から2年間、議会事務局長として勤務された河西実氏が定年退職し、4月1日付の人事異動により、後任として前下水道課長の今澤幸広氏が議会事務局長に配属となりました。

精一杯がんばります。
今後ともよろしくお願いします。

●広報編集委員会
委員長 河住 保茂
副委員長 河田 あけみ
委員 林 三井 和仁
深澤 克男
石原 高明

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

6月11日(火)開催予定です

議会事務局 275-8842

(今澤・小林)